

## 【地域医療】

地域医療は、研修協力施設の現場で4週間の研修を行い、医療の社会性を理解し、公衆衛生に寄与する医師となるために必要な知識と技術、態度を身につける。

### I. 臨床研修到達目標（2年次必須科目履修4週）

1

#### ・ 一般目標（GIO）

地域医療、老人医療、予防医療の社会での役割、医療全体の中の位置づけを理解し、保健機関及び医療機関相互の連携ができるようになるために、それぞれの機関を利用する患者及び住民の健康課題の解決方法を身につける。

### 2. 行動目標（SBO）（経験目標）

- 1) 医療・保健・福祉・介護の法規、制度を理解し、医師として適切に行動できる。
- 2) 公衆衛生機関としての保健所の機能（地域保健・健康増進等を含む）を理解し、その中での医師の役割を実践できる。
- 3) 患者の心理社会的な側面について、医療面接の中で情報収集ができる。
- 4) 病診連携について理解し、実践する。
- 5) 診療所の役割を理解し、生活者である地域患者に目を向けて、家族の状況なども踏まえて、問題リストを作成できる。
- 6) 患者の問題解決に必要な医療・福祉資源をあげ、各機関に相談・協力できる。
- 7) 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するための行動ができる。
- 8) 予防医療（感染症を含む）の理念を理解し、地域や臨床現場での実践ができる。
- 9) 健康増進活動、母子保健活動、各種健康診断事業に参加し、健康相談、健康指導が実践できる。
- 10) 診療情報提供書・各種診断書・介護認定のための主治医意見書などの作成ができる。

### 3. 教育内容

外来：地域医療における初期対応について、指導医の指導下で外来診療を経験する。

一般外来は当医療センター内科・小児科・外科にて並行研修として行うが地域医療研修の2週にて行うことも調整している。

### 4. 研修協力施設

東京慈恵会医科大学葛飾医療センターで提携している研修協力施設の中から選択する。